

剣聖の里 柳生

豊かな自然と歴史・文化・伝統を

ゆっくりとお楽しみください

2 家老屋敷

徳川幕府の兵法指南役として領地を離れることが多かった柳生藩主に代わって柳生藩南都屋敷を預かり、藩の財政の立て直しを行った家老小山田主鈴が隠居後に暮らした屋敷です。(県の指定文化財) 大きな石を組み上げた豪華な石垣は、天保12(1841)年に尾張の石工が築いたもので、屋敷は1848年に建てられました。トイレ有。入場料350円。開場9時から17時

4 陣屋跡

1642年、柳生宗矩が、柳生藩の陣屋を建てた。この時代城の築営は厳しく取り締まられ、門は簡素に竹で作られ、城ではなく、陣屋と呼ばれる小さい建物だった。トイレ有。弁当に最適。



5 瘡瘡地藏・・・国指定の文化財

『正長元年(1428年)よりさき者(は)、かんへ四かんこうに、をいめあるべからず』の4行27字が刻まれています。内容は、神戸四箇郷(大柳生、阪原、邑地、小柳生)のそれまでの負債がないつまりすべて破棄されたことを内外に表明した農民側勝利の石文です。



1 十兵衛杉

柳生十兵衛三厳 寛永3年、3代将軍徳川家光の内命を受け西国の諸大名の徳川に対する心底を探るため、諸国漫遊の旅に出るとき、杉の稚苗を植えたもので、柳生の里人はもちろん広く知れ渡った杉は、昭和49年10月枯死するまで348年間柳生の里にそびえていた。十兵衛杉のあるところが三厳の埋葬地。見晴らしがとてもよいところです。



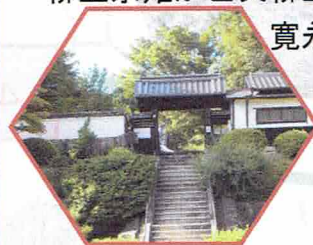
3 摩利支天山

柳生藩四代藩主柳生宗在が摩利支天の社殿を造営したことから、俗に「摩利支天山」と呼ばれる。饅頭形の山は古墳でその石棺のふたが柳生八坂神社に現存している。見晴らしがよい。弁当に最適。



6 芳徳禅寺

柳生宗矩が亡父柳生宗厳の供養のため、寛永15年建立。北側には柳生家の墓所がある。中には、酒樽台、酒徳利の塔、酒盃の笠の墓石からなる石塔や亀に乗っている墓石と変わったものもある。見晴らしがよい。拝観料200円。トイレ有。



7 一刀石

一刀石のある場所は石舟斎の新陰流の修行地。柳生の奥の院と呼ばれている場所にあります。あたりは木で囲まれていて、落ち着きます。谷一帯に自然石が多く、参道の石にはすべて3132の神が祝い祀ってあるといわれています。



どうぞ柳生の里にまたお越しください
平成26年度柳生中学校卒業生



柳生おもしろマップ



柳生のゆるキャラ



十兵衛が諸国漫遊の旅に出るとき、杉の稚苗を植えたものです

十兵衛杉
十兵衛 行きます!



至笠置



柳生小学校

至月ヶ瀬

芳徳禅寺
亡き父のために・・・

柳生宗矩が亡き父の柳生宗厳の供養のために創建した第一世(初代)住職は宗矩の子列堂和尚

至奈良

駐在所

家老屋敷
「春の坂道」の構想を・・・



家老小山田主鈴の旧屋敷
作家山岡荘八が小説(NHKでドラマ化)の構想を練った

摩利支天山
柳生を一望!!この眺め

この山は柳生宗在が摩利支天という神様の社殿を造った場所です

柳生中学校

桜吹雪の陣屋跡
春にはさくら祭りがあります!

柳生宗矩が3年かけて建てたお城(陣屋)です



一刀石
なんだこの石は!見事な割れ目

柳生石舟斎が天狗と闘い、一刀のもとに切ったときに割れたと言われています

ほうそう地蔵
借金帳消し農民喜ぶ

27文字をじっくりと見てください



わたしの散策プラン(番号を記入して見学してください)

わたしのお気に入り



柳生の里をのんびりとお楽しみください 平成26年度柳生中学校卒業生

